

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

September / 9 / 2022 # 114

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『Jeju International Brass Competition』

[2] Pepeのひとりごと

『道具の選択』

[3] おすすめ動画

『2022 17th JIBPC Final Round [Euphonium, Percussion]』

『【配信No.5】大阪交響楽団 南港サンセットホール』

[4] 演奏のヒント！

『息のスピード（中音域）』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『Jeju International Brass Competition』

先月の8月は、韓国の済州島（Jeju）で国際コンクールが行われました。

（今現在は、ドイツでARDミュンヘン国際コンクールのトロンボーン部門が開催されています）

去年はオンラインでのコンクールだったようですが、今年は現地で行われたようです。

日本人の活躍も素晴らしく、Euphonium部門では第2位と第3位が、Bass Trombone部門では第1位が日本人の参加者だったようですね。

まだ今年はヨーロッパをはじめ海外からの参加者はあまり多くはなかったようだったので、ある意味チャンスの年だったのかもかもしれませんが、こうしてレベルの高いコンクールが再会されたのはとてもいいことだと思います。

これからも、どんどん日本のプレイヤーが海外のコンクールに挑戦するようになっていけばいいなあ、と個人的には思っています。

ぜひこのようなレベルの高いコンクールに挑戦をして、そういうコンクールに参加する各国からのプレイヤーとのつながりを持って、この先、この世界をもっともっと盛り上げていてもらいたいと思っています。

[2] Pepeのひとりごと

『道具の選択』

この数ヶ月の間に、大阪の、僕が教えているESA音楽学院専門学校の生徒さん（TromboneもEuphoniumも）が楽器やマウスピースを買い替えました。

すると、その買い替えをしたすべての生徒さんの演奏がぐんと良くなり、何より本人たちが楽にこれまでできなかったことができるようになったことで、嬉しそうに、楽しそうにしているんです。

そういう状況を見ると、毎回本当に嬉しくって（笑）。

僕は、普段からあまり人の使っている道具（楽器やマウスピース）についてこちらからアドバイスすることはほとんどありません。

（もちろん相談を受ければ、それはしっかりと受け止めてちゃんと寄り添って一緒に考えていきますよ）

逆に言うと、相談をしてくるまでは、特に問題を感じることはない限りはこちらから楽器やマウスピースの買い替えを勧めたりはしません。

なので、入学してきたときにすでに楽器やマウスピースは持っているので、最初に吹きにくいとか感じることはある？と聞きはしますが、特に問題を感じていない場合はそのままレッスンを進めていきます。

今回、少し他のものも試してみたい、というような相談があって一緒に楽器屋さんへ行って試奏をしてみたのですが、一緒に行った生徒さんみんながよいものとの出会いがあって、買い替えをしました。

すると、次のレッスンから、過去にずっと苦労していたところがとても簡単そうに吹かれていて、毎回感心しています。

ここで改めて、自分に合った道具を使うことの大切さを感じました。

道具のせいばかりするのは格好悪いしいいことだとは思いませんが、自分に合った道具を選べられるように成長してもらうことも大切なことの一つですねえ。

みなさんも、「自分の実力がないからです・・・」と頭から思わないで、一度、今使っている道具が今の自分には合っていないのかな？と考えてみるのもいいのでは？と思います。

僕でよければ、可能な限り相談には乗りますので、そういう人は気軽に連絡くださいね。 ;)

自分に合った道具を使うほうが、確実に練習が効果的になりますよ！

[3] おすすめ動画

『2022 17th JIBPC Final Round [Euphonium, Percussion]』

<https://www.youtube.com/watch?v=fHdluGI4IRc>

今月の1つ目の動画は、先日韓国の済州島で開催された国際コンクール、Euphonium部門のファイナル・ラウンドの動画です。

実はまだ僕も観ていないのですが、こういうのが観られるのはとてもいいことです。

次回参加できる人は、ぜひこれを観て大いに刺激を受けて、今からしっかりと目標をかかげてがんばっていきましょう！ :D

『【配信No.5】大阪交響楽団 南港サンセットホール』

<https://www.youtube.com/watch?v=IH4P5Epb6b8>

2つ目の動画は、先日大阪クラシック2022の一環として、同じオーケストラの同僚、Hornの青木さんと一緒に収録をしたコンサートの動画です。

暑～い中、ごくごく限られた時間の中での収録で、集中して挑みました！

30分のプログラムの録画収録を、カメラ・セッティングを含め90分で、

強烈な環境の中、精一杯がんばりました！

あと、このコンサートではEuphonium、Alto Trombone、そしてTenor Tromboneの3本すべてを演奏しています。
2022年10月10日までの公開なので、ぜひその間に観てみてください！
よろしくお願いします！

[4] 演奏のヒント！

『息のスピード（中音域）』

今回は、息のスピードについて。
しかも、さらに範囲を狭くして中音域の息のスピードについて書いてみます。

みなさんも御存知のように、息のスピードは高い音を吹くときには速いスピードで、反対に低い音を吹くときには遅いスピードの息を使います。
中音域では、想像通り、その間、速くも遅くもない中くらいの息を使いますよね。

ここが少しわかりにくいところになっているのではないかと僕は感じています。

もちろん、感覚は人それぞれ違うので個人差はあるとは思いますが、割合でいうと、中音域の息のスピードが少し遅い人（もう少し速くしたほうがよくなると思われる人）のほうが多いように僕は感じています。

中音域というと漠然としすぎると思うので、ここではまず真ん中の「F」だと認識して考えてみてください。

柔らかい音や温かい音を出したいと思っている人ほど息のスピードは遅めになってくると思います。
これは間違っていないので、その意識で合っています。

ここで、音色を意識しすぎて息のスピードがその音に対して遅すぎる場合は、リップスラーで何かを吹くときや、アーティキュレーションの違いをはっきりと付けたいときなどに支障が出る場合があります。

リップスラー（特に中低音域）がうまくできない人や、アーティキュレーション（特にスタッカートなど）の違いがはっきりと表現できない人、音を出すときに「後押し」気味になりやすい人などは、息のスピードが少し遅めの人の

可能性が高いと思います。

もし自分の演奏に上に書いたような症状がある人は、中音域を吹くときに、少し息のスピードをこれまでより上げてみてください。音色は少し暖かさが失われるとは思いますが、その場合はシラブル（音を出しているときに口の中で発音していること。「Ta」とか「To」など）を調整すると、音色は変わってきますよ。ぜひ試してみてください。

中低音域でのリップスラーが苦手な人には、かなりの効果が出てくると思います。音が伸びているときに息のスピードが変わらないように、注意してやってみましょう。

編集後記

今月は、やっと余裕を持って発行することができました～！
少しずつでも、成長！！ :D

9月になり、朝晩はやっと秋らしい空気を感じることができるようになってきましたが、まだまだ昼間は気温は上がって、暑い日が続いています。

そんな中、この8月末で大阪に引っ越してきてまる7年が経ち、この9月からは大阪交響楽団での活動も8年目に入りました。

いやあ、あっという間に7年も経ちました。
そのうち2年半くらいはコロナ禍ではありましたが、いろいろな経験を通して僕自身もかなり成長していくことができました。

まだまだこれからもやっていきたいことは山のようにあるので、一つずつ、欲を出しすぎず前に進んでいきたいと思っています。

もう少しで、甲状腺切除の手術からも1年が経ちます。
今も毎日楽しく楽器の演奏ができていることに感謝をしながら、これからもいい音楽をみなさまに提供していけるようがんばっていきます！
これからもよろしくお願いします。

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』

のバックナンバー、配信停止はこちら

<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>